



Yokohama Arts Foundation



横浜音祭り2019

チェコ・フィル

待望の来日 セミヨン・ビシュコフ指揮 チェコ・フィルハーモニー管弦楽団



左から チェコ・フィル©Vaclav Jirasek、セミヨン・ビシュコフ©Chris Christodoulou

■音楽大国チェコが世界に誇るオーケストラ＝チェコ・フィル

1896年に創立され、チェコ文化を代表する存在として、温かく美しい響きで、聴衆を魅了する、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団。横浜みなとみらいホールには、2007年(ズデネク・マカル指揮)、2015年(イルジー・ビエロフラーヴェク指揮)、2017年(ペトル・アルトリヒテル指揮)と登場し、その地方色豊かで芳醇な響きは深い感動を呼び、ご記憶の方も多いと思います。

■独特の世界を築いてきたビシュコフ

この名門オケを率いるのは、2018年10月より首席指揮者・音楽監督として就任したセミヨン・ビシュコフ。1952年ソビエト連邦(現ロシア)のレニングラード(現サンクトペテルブルク)に生まれ、19歳でレニングラード音楽院を首席で卒業、20歳でラフマニノフ指揮者コンクールで優勝し、1974年西側に亡命した後、パリ、ケルン、ドレスデン、ミラノ、ロンドン、ベルリン、ニューヨークと、世界のあらゆる主要歌劇場に登場してきました。

——いわば融通無碍にそれぞれのスタイルに準拠しながらも、野太い個性と恰幅のよい音楽、しかし細部の繊細さや音色の透明感を失わずに、独特の世界を築いてきた。(長木誠司・談)——と、評されるビシュコフ、就任早々の待望の来日です。

■伝統と革新が融合する新時代の幕開け

そのビシュコフと共に精力的に取り組むチャイコフスキーをメインに、チェコ・フィルの“今”を聴くことが出来る千載一遇の機会。チャイコフスキーの交響曲のなかでも人気の第5番、そして、彼らの故郷チェコ音楽の中でも大切なレパートリーであるスメタナの「わが祖国」から「モルダウ」などが演奏されます。

伝統と革新が融合される新たな時代の幕開けを、ぜひお聴きいただきたく、ここにご案内申し上げます。

公演名：セミヨン・ビシュコフ指揮 チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

日時：2019年10月20日(日) 15:00開演/14:20開場

会場：横浜みなとみらいホール 大ホール

出演：セミヨン・ビシュコフ(指揮)、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団

曲目：スメタナ：連作交響詩「わが祖国」より「ヴィシエフラト(高い城)」「モルダウ」「シャルカ」

チャイコフスキー：交響曲 第5番 ホ短調 作品64

料金：全席指定 S席 19,000円 A席 15,000円 B席 12,000円 C席 9,000円 ※好評発売中

主催：横浜みなとみらいホール(公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団)

共催：横浜アーツフェスティバル実行委員会

問合せ：横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000

◇ご取材・ご掲載・ご来場いただける場合には、下記へご連絡をお願いいたします。

このプレスリリースに関するお問合せ：横浜みなとみらいホール Tel: 045-682-2020 / Fax: 045-682-2023
広報担当：鈴木慶子、飯島玲名 事業担当：佐々木真二、白川美帆